

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

|                     |
|---------------------|
| NPO法人 ナルク岐阜福祉調査センター |
|---------------------|

② 事業者情報

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 名称：岐阜市立早田保育所       | 種別 保育所            |
| 所長： 中村千真           | 定員 70名            |
| 所在地 岐阜市早田東町6丁目35番地 | Tel. 058-231-8891 |

総評

評価調査日：平成28年12月12日及び平成28年12月13日

◇特に評価の高い点

岐阜市立早田保育所の前身は、昭和29年9月、定員60人で保育を開始した「馬場保育所（現在の教育集会場）」である。昭和40年11月、現在地に園舎を新築、昭和41年5月に、馬場保育所を「早田保育所」と改名した。定員はその時代の、地域のニーズに合わせ、変遷しているが、現在は、未満児（1・2歳合同）14人、以上児（3クラス）42人、合計56人が通園している。

早田保育所は、岐阜市の長良川北に位置する。住宅街であるが、金華山が眺められ、近くには長良川の自然、メモリアルセンター、国際会議場、ぎふ清流文化プラザなどの文化施設も多く、自然と文化が融合した環境の中にある。開所以来62年、木造平屋建ての園舎も、築後51年が経過し、建物の老朽化は否めないが、よく手入れされている。当調査センターが行った、アンケートでは、建物の改築を望む声も、一部にはあるが、総体的には保護者の満足度は高く、地域に定着した着実な歩みを続けているといえよう。

園庭は、子ども達が遊ぶに十分な広さがあり、ブランコ、滑り台、鉄棒、ジャングルジム、雲梯があり、砂場は、よく整備され異年齢児の交流の場ともなっており、園庭の片隅の菜園には今は玉ねぎの苗が植えられていた。

平成27年度から、園庭の芝生化が進められている。園庭の芝生化は、裸足になって運動したり、遊んだり、転んだ時の怪我也減少し、砂埃の減少などの多くの利点があるが、整地、播種、施肥、灌水、砂まき、芝刈りなどの、労力を伴う。保育士もたいへんであるが、保護者からも当番制などの協力が得られている。訪問日は冬期で、緑の芝生は見る事ができなかったが、夏には子どもたちは、裸足で駆け回っているようだ。因みに早田保育所は夏芝（暖地型芝草）である。

早田保育所は、公立の保育所として、「生涯にわたる生きる力の育成」を目標として掲げている。具体的には（健康な心と体を作る力・人や物と関わる力・言葉で伝えあう力・感性豊かに工夫して表現する力）を育成することとし、1歳児から5歳児のそれぞれの発達過程について、きめ細かく、養護と教育を実践するにあたっての、保育士の配慮事項が定められている。

りず組（1・2歳児）14人、うさぎ組（3歳児）9人、ぱんだ組（4歳児）15人、きりん組（5歳児）18人が、障がいのある子ども、国籍の違う子ども、分け隔てなく、経験豊富な保育士と、若手保育士に見守られていた。4月入所以降8か月を経過した訪問調査日では、子ども達も一日の流れを身につけ、保育士も、ゆったりと構えて、保育に当たっていることを窺うことができた。

異年齢児の関わりが、日々の保育の中に取り入れられていた。異年齢児の交流保育を「さくらんぼ会」と呼んでいる。「さくらんぼ会」は、3・4・5歳児を、みかん組（15人）、いちご組（13人）、めろん組（14人）の3グループに分けて行っている。1週間に1回は、公園遊び、ペインティング遊びなどを通して、年上の子は年下の子と接して、お世話をしたり、教えたりすることで、自信を持つと同時に、譲ることや、我慢を覚えていき、また年下の子は、年上の子どもを見て、学び、憧れ、挑戦する気持ちが育つようにしている。

訪問、第1日は、快晴にめぐまれ、午前中の戸外活動は紅白対抗リレー競争であった。40人ほどの以上児が赤・白に分かれ、リレーのバトンをつなぎ、真剣に走り、勝敗を競っていた。途中、バトンが紛失(?)するハプニングがあったが、保育士の機転により、バトンは最後までつながった。みんなで協力して、みんなで勝って、喜びを共有する。子どもたちは一生懸命であった。

中長期計画、年度計画では「食育の推進」が掲げられているが、どの組も給食の時間は明るく、楽しい雰囲気保育室に満ちている。早く食べる子、遅い子と様々であるが、保育士は遅い子に対しても決して、せかすことなく、ゆっくり食べ終わるまで待っている。嫌いな野菜には時間はかかるが残さず食べさせている。食べ残しは殆どない。給食に関しては、保護者アンケートで殆どの保護者が満足と回答している。

岐阜市が、中長期計画事業として平成24年度から実施している公立保育所保育研究会は4年目に入り、軌道に乗っている。28年度は「遊び方・用具の使い方のマニュアル作り」を行い、また園内外の公開保育が行われている。早田保育所へは市内5保育所の保育士が参加し、早田保育所の保育士も市内5保育所の公開保育に参加している。マニュアルの完成が期待される。

◇改善を求められる点

### ③ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

保育所の運営及び保育内容について、見直す良い機会となりました。評価項目に沿って日頃の保育を振り返るに当たり「子供の最善の利益とは」と改めて考えさせられました。果たしてこれでよいのかと自省する部分が多々あり更に深めていく必要性を感じました。職員間で話し合いの機会を繰り返し持ち、それぞれの意見を言い合うことでお互いの思いを理解しあう機会がもてました。

全職員が理念・基本方針を共通理解し、保育の実践的内容の充実と保育サービスの本質について学び合い、より質の高い保育サービスを提供できるようになりました。また、職員間の意思疎通・連携が一層密になったことを実感しています。

利用者の満足を満たし選んでもらえる保育所、また地域に根ざした保育所として、今後も質の高い保育サービスに努めていきたいと思っております。

### ④ 評価項目の第三者評価結果 (別紙)